

放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

概要

- ・環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線や地域の環境再生への取り組みなどについて、分かりやすい情報を提供しています。
- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています。

これまでの活動状況

8月31日時点

項目		2021年度 8月分	2021年度 累計
■放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター		(単位：回)	
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	0	1
	専門家派遣	0	3
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	0	24
	車座意見交換会	5	9
■環境再生プラザ		(単位：回)	
・専門家派遣	自治体など	1	11
	小中学校など	1	7
	その他	0	8
・移動展示		0 (0日)	5 (6日)
■その他		(WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)	
・内部被ばく検査 (WBC)の支援		4	17
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援		19	44

今月の放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況

(放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター実施分)

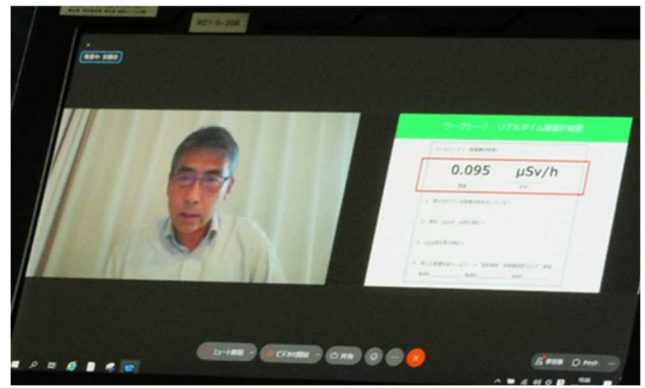
- ◆**車座意見交換会** ・8/4 福島市
- ・8/6 福島市
- ・8/12 二本松市
- ・8/17 郡山市
- ・8/18 二本松市

(環境再生プラザ実施分) *オンラインによる実施

- ◆**専門家派遣** <自治体など> ・8/26 郡山市原子力災害総合対策課
- <小中学校など> ・8/30 福島市教育委員会
防災・放射線教育研修会 *



事前講義の「放射線に関わる福島のこれまでと今」をオンラインで受講後、70名の教員が「教室で実践できる放射線実習」を学びました(8/30)



専門家がオンラインにて事前講義と実習の解説を担当しました(8/30)

(その他)

◆WBCによる内部被ばく検査

ホールボディカウンタ(WBC)とは：
体内に存在する放射性物質の種類や量を測定できる装置です



WBCを搭載した車輜



ホールボディカウンタ

◆ガンマカメラによる放射線測定

ガンマカメラとは：
特定の場所の放射線量の高低を色分けして着色することで、線量を可視化することができる特殊なカメラです



ガンマカメラでの撮影風景

